

交換機種のご案内

施設規模に合わせて交換機種をお選びいただけます。

FS-2500 シリーズ

最大局数 [500局] 最大回線数 [640回線]
音声警報・4カ国語対応・ラック型非常用放送設備

大幅なサイズダウン **業界最小**

音声警報メッセージに
4カ国語(日・英・中・韓)が標準で
搭載された認定評価品 **業界初**

非常放送に優先して
緊急地震放送※が可能

停電時の業務放送にも対応可

※平成21年9月30日公布「消防法施行規則等の一部を改正する省令(平成21年総務省令第93号)および、「非常警報設備の基準の一部を改正する件」(平成21年消防庁告示第22号)を満たす非常用放送設備の基準を規定した、社団法人 電子情報技術産業協会発行の「緊急地震速報に対応した非常用放送設備に関するガイドライン」に準じた緊急地震速報による放送。

FS-1000 シリーズ

緊急地震放送の法制化に対応した壁掛型
音声警報対応・壁掛型非常用放送設備

10局・90W **FS10-910**

20局・90W **FS10-920**

30局・90W **FS10-930**

10局・180W **FS10-1810**

20局・180W **FS10-1820**

30局・180W **FS10-1830**

10局・270W **FS10-2710**

20局・270W **FS10-2720**

30局・270W **FS10-2730**

10局・400W **FS10-4010**

20局・400W **FS10-4020**

30局・400W **FS10-4030**

(業務用電源ユニット付タイプ)

10局・90W **FS10-910G**

20局・90W **FS10-920G**

30局・90W **FS10-930G**

10局・180W **FS10-1810G**

20局・180W **FS10-1820G**

30局・180W **FS10-1830G**



FS10-4030G

10局・270W **FS10-2710G**

20局・270W **FS10-2720G**

30局・270W **FS10-2730G**

10局・400W **FS10-4010G**

20局・400W **FS10-4020G**

30局・400W **FS10-4030G**

リース、クレジット 分割払い もご検討いただけます。

ご予算の都合等で、リースもしくは分割払いで非常用放送設備を入れたい場合も、
ご遠慮なく弊社取扱店にご相談ください。

安全に関するご注意



●ご使用前に「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●製品は本来の用途以外には使用しないでください。●このカタログに掲載されている製品には電気工事等が必要な場合があります。お買い上げの販売店、または専門業者にご相談ください。
配線等の据え付け工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。●このカタログに掲載されている製品を天井等に取り付ける場合、金具等を含む全重量に十分に耐えられる強度のある場所に取り付けてください。十分な強度がないと、落下、転倒によりケガをする場合があります。

設置・ご使用上のご注意



●製品を常に最良の状態でお使いいただくために、一定期間ごとの保守点検を実施されることをお勧めします。●非常用放送設備は消防法により所定の保守点検の実施が義務づけられています。●保守点検・修理の期間、費用等はお買い上げの販売店にご相談ください。

カタログのご案内



FS-2500シリーズの特長、
システム構成例、仕様など
は機器カタログでもご紹介
しています。
カタログPDFはQRコード
からご確認ください。



●このカタログに掲載されている製品価格には設置調整費用、電気工事費用、使用済み商品の引取り費用等は含まれておりません。●このカタログに掲載されている製品は改良のため予告なく仕様・価格等を変更する場合があります。●製品の色は印刷のため実際の色調とは多少異なる場合があります。●このカタログに掲載されている製品は日本国内専用です。海外ではご使用できませんのでご注意ください。●このカタログに掲載されている製品は、犯罪抑止や事故防止等を意図して設計・製造しておりますが、本システム単独で、犯罪の防止や安全を保証するものではございません。万一、事件・事故等による被害・損害が生じた場合でも、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

TOA 株式会社

札幌 TEL(011)633-5535代
青森 TEL(017)723-3751代
仙台 TEL(022)256-8100代
盛岡 TEL(019)636-4231代
山形 TEL(024)923-7744代
新潟 TEL(025)246-2316代
長野 TEL(026)234-2231代
水戸 TEL(029)231-9811代
宇都宮 TEL(028)633-9661代
さいたま TEL(048)685-5131代
千葉 TEL(043)382-6511代
多摩 TEL(042)523-8405代
東京 TEL(03)5621-5761代
新潟 TEL(03)5621-5784代
新潟 TEL(03)5621-5782代
新潟 TEL(03)5621-5765代
横浜 TEL(045)444-3422代

静岡 TEL(054)251-5350代
金沢 TEL(076)244-1951代
岐阜 TEL(058)276-1401代
名古屋 TEL(052)509-7851代
大阪 TEL(06)6260-1526代
大阪 TEL(06)6260-1525代
大阪 TEL(06)6260-1521代
京都 TEL(075)212-4100代
神戸 TEL(078)303-5625代
岡山 TEL(086)241-8029代
広島 TEL(082)291-3988代
高松 TEL(087)866-5995代
松山 TEL(089)931-1586代
福岡 TEL(092)431-0061代
熊本 TEL(096)352-0883代
鹿児島 TEL(099)256-5245代
那覇 TEL(098)866-5598代

営業戦略部
課長 TEL(03)5621-5790代
課長 TEL(03)5621-5790代
インフラ営業部
東京 TEL(03)5621-5791代
大阪 TEL(06)6260-1528代
セキュリティマーケットデザイン営業部
東日本ユニット
東京第1 TEL(03)5621-5801代
東京第2 TEL(03)5621-5801代
西日本ユニット
名古屋 TEL(052)509-7852代
大阪 TEL(06)6260-1535代

【業務用カタログ】※このカタログに掲載されている製品の価格はすべて希望小売価格であり、消費税は含まれておりません。



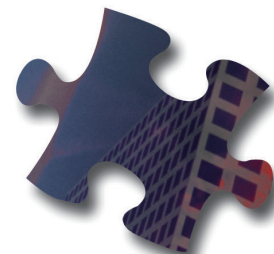
この印刷物は環境に配慮し、植物油インキで制作しています。



～メンテナンスサポートガイド～

非常用放送設備を「安心・安全」に お使いいただくために

万が一の時に大切な「いのち」を守る非常用放送設備。
安心のため、安全のため、設備の維持・管理のご検討に
どうぞお役立て下さい。



2019.09
●このカタログは2019年9月現在の仕様に基づいて作成されています。カタログNo.F-025 TH10

ISO

TOAは国際規格である品質保証の「ISO9001」、
環境の「ISO14001」の認証登録企業です。

火災時、地震時……など、もしもの時に非常放送が行えないことがないように 安心・安全のために、長い間ご使用されている非常用放送設備の更新計画のご検討をおすすめします。

当社の非常用放送設備は、ご購入後も10年間は補修用部品を供給できるように努めております。
しかしながら、既に部品メーカーが部品の生産・供給を完了している場合も多く、一部商品では補修用部品の入手が極めて困難となっております。
より安全で信頼性の高い施設環境づくりのために、ご購入時期をご確認いただき、10年を迎える機種をお使いの場合は更新のご検討をお願いします。
また、消防法で義務付けられております定期点検も、実施いただけますようお願いします。

性能修理期間はご購入から**10年**です

メンテナンスできない T O A 製非常用放送設備

型式	FS-391	FS-392・FS-393・FS-394	FS-751	FS-761/D・FS-762	FS-781	FS-801	FS-811・FS-812	FS-831
形状	ラック型	ラック型	壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型	ラック型	壁掛型
自火報連動	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉
パワーアンプ(W)	60、100～400	60、100～400	30、60、120	30、60、100、120～720	60	30、60、120、180	30、60、120～960	30、60、120、240
非常操作部	EP-011、SS-039	SS-031	—	EP-027	—	—	EP-027	—
非常電源部	DS-021 DS-022 DS-032	DS-021 DS-022 DS-032	本体下部に内蔵	DS-027	本体下部に内蔵	本体下部に内蔵	DS-027	本体下部に内蔵
ニカド蓄電池	—	—	30W NDC-2412 60W NDC-2416 120W NDC-2435	NDC-2435 NDC-2460	60W NDC-2416	30W NDC-2412 60W NDC-2416 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460
販売開始時期	1970年	1973年	1975年	1976年	1979年	1980年	1981年	1984年2月
生産中止時期	1979年	1977年	1982年6月	1987年2月	1987年3月	1984年5月	1987年2月	1994年11月
遠隔操作器型式	RM-231	RM-231	RM-751	RM-761・RM-762	—	RM-801	RM-811・RM-812	RM-831
生産中止時期	1977年12月	1977年12月	1982年4月	1982年2月	—	1984年6月	1987年2月	1994年11月

FS-841	FS-861・FS-862	FS-872	FS-891	FS-931・FS-932	FS-941	FS-961	FS-971	FS-981	FS-991
壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型
一斉	個別＋一斉	一斉	一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉	個別＋一斉
30、60、120、240	30、60、120、240、360	30、60、120、240	30、60、120、240	30、60、120、240、360	60、120、240	60、120、240	60、120、240、360、480	360	60、120、240、360
—	EP-058	—	—	EP-059	—	—	EP-0510	—	—
本体下部に内蔵	DS-028	本体下部に内蔵	本体下部に内蔵	DS-029	本体下部に内蔵	本体下部に内蔵	DS-029	本体下部に内蔵	本体に内蔵
30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	NDC-2460	NDC-2418 NDC-2435 NDC-2460
1984年4月	1986年8月	1987年7月	1989年10月	1993年11月	1994年4月	1997年2月	1997年5月	1997年12月	1999年8月
1994年11月	1994年9月	1989年9月	2004年5月	1997年3月	1997年1月	1999年7月	2019年7月	1999年5月	2017年4月
—	RM-861～864	—	RM-891	RM-931～935	RM-941	RM-941	RM-971・RM-975・ RM-976	RM-941	RM-991
—	1994年3月	—	2003年8月	2002年10月	1999年8月	1999年8月	2019年7月	1999年8月	2017年4月



機種交換3つのメリット

1

音声警報対応

現行型機種は平成6年の消防法改正で義務化された音声警報に対応しています。

音声警報のパターン

① 感知器発報放送

（女声）「ただいま〇階の火災感知器が作動しました。確認しておりますので、次の放送にご注意ください」

② 火災放送

（男声）「火事です、火事です、〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください」

③ 非火災報放送

（女声）「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください」

「音声」による警報で、的確な情報を提供し、避難者をスムーズに誘導することができます。

2

4カ国語が搭載された認定評価品

平成30年3月に消防庁から発出された『消防庁第255号「放送設備の設置に係る技術上の基準の運用について」の一部改訂について』に対応した認定評価品で、音声警報メッセージに4カ国語（日、英、中、韓）が標準で搭載されています。

※FS-2500シリーズのみ

3

緊急地震速報への活用

「緊急地震速報受信装置」からの地震速報（2007年10月1日から一般提供開始）を放送設備で拡声して、危険回避行動を促すことができます。

地震の際にも、火災の際にも役立つ放送設備が、いざという時に利用できないといったことがないように、メンテナンスをお願いします。メンテナンスできない機種をご使用の場合は、更新計画のご検討をおすすめします。

なお、「緊急地震速報受信装置」につきましても、ご相談に応じられます。合わせて、ご検討ください。

※緊急地震速報の詳細はコチラをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/index.html>

緊急地震速報とは？

緊急地震速報は、P波（初期微動）とS波（主要動：大きな揺れ）の到達時間差を利用し、P波の観測からいち早く大きな揺れが来ることをお知らせする情報です。

バッテリー交換もご検討ください

バッテリーは消耗品です。業務放送時はAC電源で駆動しているので問題がなくても、火災等の非常時に、停電で非常放送が行えないことがないように、予防保全の観点からもバッテリーは、3年を目途に交換のご検討をおすすめします。

耐用年数は約4年!!